

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1.2組：A分野 中田 / B分野 河村) (3.4.5.6.7.8組：A分野 永井 / B分野 河村)

使用教科書： (東京書籍『家庭基礎 自立・共生・創造』 )

教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらに係る技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見つけ課題を設定する。解決策を構想して実践を評価・改善し、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A分野：生涯を見通す 【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題や、家族・家庭の機能と家族関係、社会環境の変化などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 男女が協力して家族の一員として家庭を築くことの重要性について問題を見だし、課題を解決する力を身に付けている。	・生涯発達の視点 ・青年期の課題  ・教科書・資料集・ワークシート等の教材を用いた学習 (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 人は生涯を通して発達し、各ライフステージに発達課題があることを理解する。 【思考・判断・表現】 今の自分をみつめ、青年期の発達課題である自立について自身の言葉で表現することができる。	○	○		4
	B分野：衣生活をつくる 【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について問題を見だして課題を設定し課題を解決する力を身に付けている。	・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する  ・教科書・資料集・ワークシート等の教材を用いた学習 (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 被服材料・被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適・機能的な着装について考え、表現することができる。	○	○		4
	定期考査						
	A分野：経済生活を営む 【知識及び技能】 家計の構造や家計管理、消費者の権利と責任、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見だして、課題を解決する力を身に付けている。	・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す  ・教科書・資料集・ワークシート等の教材を用いた学習 (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見だして、経済生活の計画や課題の解決策を考えることができる。	○	○		5
B分野：衣生活をつくる 【思考力、判断力、表現力等】 衣生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・小物製作 ・一人1台端末の利用	【思考・判断・表現】 衣生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、小物製作を円滑に進めることができる。		○	○	5	
定期考査			○	○		1	
A分野：人生をつくる 【知識及び技能】 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見だして、課題を解決する力を身に付けている。	・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会  ・教科書・資料集・ワークシート等の教材を用いた学習 (一人1台端末の活用)	【知識・技能】 家族・家庭に関する基礎的な法律や、職業労働・家庭労働等について理解するとともに、性別役割分業を見直し、男女が協力して家庭を築く必要性について理解する。 【思考・判断・表現】 生涯を見通し、自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルや将来の家庭生活等を考え、表現することができる。	○	○		5	
B分野：食生活をつくる 【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴	・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品	【知識・技能】 青年期の食生活の課題や、各栄養素の種類や					

